

一般社団法人 日本リハビリテーション工学協会

2012年度第2回（通算第10回）理事会 議事録

1. 開催日時：2012（平成24）年9月29日（土）11：10（昼休憩11:55～13:00）～15：00

2. 場 所：横浜ラポール 2階応接室

3. 審議事項および資料

第1号議案（専権等の報告） 各業務執行理事の専権事項の報告

（1）事業の後援および協賛に関する承認について（報告）

（2）横山公認会計士事務所の継続契約について

（3）新入会者の承認についてメールによる承認者の報告について

第2号議案 総務統括理事からの業務執行状況の報告

第3号議案 事業統括理事からの業務執行状況の報告

第4号議案（専権等の報告） 統括会議報告

第5号議案（決議） 役員選挙、役員候補者選挙に関する規則（案）

第6号議案（継続審議） 7月・8月決算報告

第7号議案（継続審議） SIGの位置づけについて

第8号議案（継続審議） SIG助成金のあり方及び配分方針の変更について

第9号議案（決議） 台湾リハビリテーション工学学会との連携協定の締結

第10号議案（専権等の報告） 第27回リハ工学カンファレンス in 福岡の報告

第11号議案（決議） 第29回リハ工学カンファレンス開催に関して

4. 理事総数 13名

出席理事数 11名

会長（代表理事） 相良二郎

副会長 沖川悦三

理事 飯島浩、岩崎満男、大鍋壽一、金井謙介、川村慶、元田英一、鈴木聖貴

高原光恵、巴雅人

監事 井上剛伸

事務局 深野栄子

欠席理事 塚田敦史、古井透

欠席監事 井村保

5. 議事の経過の概要及び議決の結果

（1）定款第39条に基づき、議長となる代表理事の相良二郎が本日の理事会は定数を満たしたので、有効に成立した旨を告げたのち、開会の辞を述べた。

（2）議事録署名人について、議長からの指名により、本日出席理事の金井謙介と川村慶の2名を選出した。

第1号議案（専権等の報告） 各業務執行理事の専権事項の報告

議長の求めに応じて各理事より個別に説明をなし、その承認（追認）を求める報告がされた。

(1) 事業の後援および協賛に関する承認について（報告）

事務局統括担当の沖川理事より、前回の理事会以降で、継続依頼のため専権事項として承認回答した後援・協賛依頼についての報告がされた。

(2) 横山公認会計士事務所の継続契約について

財務担当の飯島理事より、横山公認会計士事務所への新年度会計業務の指導・会計書類作成依頼の継続契約についての報告がされた。

(3) 新入会者の承認について

事務局統括担当の沖川理事より、前回の理事会以降で、法人完全統合後（2012年9月1日以降）に承認された2名と今回提示以降の入会者2名の入会が満場一致で承認された。

第2号議案（報告） 総務統括理事からの業務執行状況の報告

総務統括担当の鈴木理事より、各業務執行理事の業務執行状況が報告された。なお専権事項の報告については、別途議案提出し審議している。

■ 財務

- ・ 2012年7月～8月までの収支計算書・正味財産増減計算書・貸借対照表を会計士事務所と調整しまとめた（別添資料）。
- ・ 横山公認会計士事務所の継続契約について調整した。

■ 理事会・総会

- ・ 2012年度法人社員/任意団体 総会資料作成
- ・ 2012年度法人社員/任意団体 総会の準備および開催

■ 総務統括

- ・ 総会に提出するため定款案作成
- ・ 役員候補者選挙規則（案）・役員選挙規則（案）、代議員選出規則（案）を作成して、統括会議にて議論し、理事会に提出するための資料を作成した。

第3号議案（報告） 事業統括理事からの業務執行報告について

議長の求めに応じて各理事より、各業務執行理事の業務執行状況が報告された。

■ カンファレンス担当

- ・ 第27回リハ工学カンファレンスが無事終了した。

■ コンテスト担当

- ・ 福祉機器コンテスト2012表彰式が無事終了した。

■ 企画担当

- ・ HCR2012 出展者プレゼンテーションにおいてセミナーを企画・実施し、68名の参加だった。

■ その他

- ・ 関西支部第2回セミナー準備状況（チラシ配布）

第4号議案（専権等の報告） 統括会議報告

総務統括担当の鈴木理事より、9月28日に行った統括会議の報告がされた。

出席者：相良会長、沖川事務局統括理事、鈴木総務統括理事、金井事業統括理事、飯島財務担当理事、深野事務局長

- ・ 役員候補者選挙規則（案）、役員選挙規則（案）、代議員選出規則（案）について検討した（議案提示しているため口述説明のみ）。
- ・ 選挙管理委員を神奈川リハの辻村和見氏、松田健太氏、村田知之氏にお願いしたいという意向を確認した。

第5号議案（決議） 役員選挙、役員候補者選挙に関する規則（案）

総務統括担当の鈴木理事より、来年8月の役員改定につき、役員選挙、役員候補者選挙に関するフロー図および規則案が提示され審議の結果、満場一致で承認された。

①代議員、役員候補者選挙、役員選挙フロー

②役員候補者に関する選挙規則

③役員選挙に関する規則

④代議員選出規則

- ・ 選挙が3種あり選挙管理委員会も3種になる。
- ・ 会員への周知期間をしっかりと告知するようにする。HP、協会誌11月1日発行号に公報する。
- ・ 役員候補者選挙に関する規則（案）第15条成立条件：このままでいく。
- ・ 補欠は理事会が推薦するものと明記し（であれば候補者選挙に補欠選挙は不要）、第9条第3項は削除し、第11条2項に立候補者は受け付けないという内容が含まれればよいが、表現がふさわしくないので、第3条第4項に追加して理事会推薦であることを明記する。
- ・ 法に則り、当協会の現状を考慮し、正会員の意見も反映できるように考慮した上で、最良の選出方法を検討した結果がこの選挙法である。
- ・ 役員選挙は代議員による信任投票であり不信任に×を記入する方法（＝未記入は信任）、理事候補者選挙は正会員による選出で定員数以内の○を記入する（×は無効、）方法とする。

第6号議案（継続審議） 7月・8月決算報告

財務担当の飯島理事より、8月締めの収支計算書総括表、正味財産増減額計算書総括表、貸借対照表総括表が提示され、12月末までの精算期間は団体会計と法人会計とに分けての計上のままとしていることが報告され承認された。

第7号議案（継続審議） SIGの位置づけについて

分科会・専門委員会担当の高原理事より、8月のSIG代表者会議にて、SIGの位置づけについて、理事会でより詳細に検討するよう要望が出されたので、理事会としての統一見解が出されるよう審議した。

なお、理事会としての考えがまとまった後は、それをSIGの位置づけの決定事項とするのではなく、再度、SIG代表者会議に戻し、意見を聞くという手順とし、8号議案とあわせて、次回理事会までに規則案を作成し、継続審議とされた。

・位置づけに関わる問題

法人化後の体制として、各SIGは協会の下部組織ではなく独立した組織、しかし従来通り互いに協力関係を保つ位置づけとなった。協力関係が保たれることに異論はない。しかし、今後も名称（リハ工学協会〇〇SIG）は使用可能であること、活動・財務報告に一部変更があること（助成金部分のみ）、そして定款の変更はないこと、といった対応で今後矛盾は生じないか、疑問である。運用面で対応すべきか、定款／規約の変更を行うべきか、再検討いただきたい。

- ・ 総会出席者であれば理解されるであろうが、代替わり等した場合に明文化していないと不安であるため、理事会での統一した結論をSIG代表者会議に戻してほしい。
- ・ 分科会規則の見直しが必要か。各SIGで報告内容にばらつきがある。
- ・ SIGだけではなく、支部も含めて検討してほしい。地域支部はまだ全地域に設立されていないので、それまで助成金は保留にしている。分科会規程ではSIG同様助成金を受け取ることができるようになってはいるが、支部助成金規定がない。
- ・ SIG・支部・専門委員会の法人の規程案を次回理事会までに提示できるようにする。踏まえて、SIG側での意見も統一してほしい。

第8号議案（継続審議） SIG助成金のあり方及び配分方針の変更について

分科会・専門委員会担当の高原理事より、8月のSIG代表者会議にて、SIG助成金に関して、再検討するよう要望があり、審議した。なお「第7号議案」と関連するため、継続審議となった。

第9号議案（決議） 台湾リハビリテーション工学会との連携協定の締結

会長の相良理事より、本年6月2日に第1回TREATSを開催した台湾リハ工学会より、日本、韓国、台湾の3カ国（地域）間の連携協定について打診があった。RESKOとRESJAとはすでに締結済みなので、同様の条件にてTREATSとRESJA間の連携協定を交わしたいとの提案があり、審議の結果、満場一致で承認された。

・協定の条件

- 1) 相互に対して費用負担を求めるものではない。
- 2) 各カンファレンスにおいてホスト団体は他に対して活動をPRする機会を提供する。
- 3) 各カンファレンスにおいてホスト団体は、他の団体会員に対して同等の利便（参加費割引）を提供することを呈示している。
- 4) TREATSとの協定の枠組みはRESKO（一部文言変更）および徳島アグリーメントと同じとする。

第10号議案（報告） 第27回リハ工学カンファレンス in 福岡の報告

カンファレンス担当の巴理事より、第27回リハ工学カンファレンス in 福岡が無事終了したことが報告された。

- ・ 参加者 450名（内、有料参加者 285名）。演題数、開催日数（今回は2日間開催）にも関係するため単純には比較できない。
- ・ 機器展示が4社だったため出展料は少なめである。

第11号議案（決議） 第29回リハ工学カンファレンス開催に関して

カンファレンス担当の巴理事より、第29回リハ工学カンファレンスの開催に関して、広島会の会員から広島での開催希望があり挨拶に訪問したことが報告され、広島県での開催について審議の結果、満場一致で承認された。

- ・ 先方に身障対応について十分検討・留意してほしいということを理事会側の要望として伝える。

議長は、以上をもって一般社団法人日本リハビリテーション工学協会の2012（平成24）年度第2回（通算第10回）理事会に関する全ての議事を終了した旨を述べ、閉会を宣した（14時45分）。

以上の議事の要領及び結果を明確にするため、議長並びに議事録署名人は次に署名又は記名・押印する。

2012年9月29日

一般社団法人日本リハビリテーション工学協会平成24年度第2回理事会

議 長

相良 二郎



議事録署名人

金井 謙介



議事録署名人

川村 慶

